http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/

第１９９号
発行日　平成２０年２月２３日
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　八王子下恩方町１７３３－１
ＴＥＬ　（０４２）６５１－３５３５
発行人・真辺　保幸
編集者・磯部　信広

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

囲 碁 の す す め

碁楽連会長　**真辺　保幸**

２月１７日のタイトル大会で今年度の囲碁大会のすべてを盛会裏に終えることができました。ご参加いただきました方々に心より感謝申し上げます。年間の囲碁大会を通して約５０名の方々が、昇進されております。この数は、会員約３００名のうち６分の１にあたります。このことから考えると平均６年に一度は昇進してよさそうに思っています。

私は、止めていた囲碁を、定年退職を機に始めて１０年余になりますが、昇進もせずに過ごしております。年度の反省の機に、日本棋院からいただいた免状をみたら、免状の後半に「猶以勉励上達之心掛可為肝要者也」とあります。それなのに勉強をしてないので、昇進できないのは当然だと考え、書店に行ったら、「囲碁はボケ予防の妙手」と題した、金子満雄先生の著書に出会いました。著者紹介を読んだら、平成１２年までに約２万人超の痴呆症の方の治療にあたってこられた。と紹介されています。早速読ませていただきました。

この本の中に「八王子の碁を楽しむ老人連合」（会長・故熊崎正一）の高齢者テストを行ったら、全員がボケとは無縁で、軽度の人すら見つからなかった。…　…　「碁打ちにボケなし」の確信に近いものを得た。と書いています。それから、囲碁の手法を用いて、痴呆症の方を診察し、治療を行ない、その成果を紹介しています。その中で、囲碁を打つことの楽しさ、それが脳の発達を促し、知らず知らずのうちに意欲をかきたてる役目を果たしているのではないだろうかとも記しています。

この本は、棋力を高める本ではありませんが、囲碁を打つことが、脳の発達を促し、生活への意欲を高めているということが医学上も証明されていることを理解できました。そして、いままで囲碁を楽しんできて良かったと、独り合点し嬉しくなりました。そして、一日も早く昇進できるように努めると共にさらに、多くの方々に囲碁をすすめていきたいと考えています。

参照した本の紹介

囲碁はボケ予防の妙手

浜松医療センター顧問　金子満雄著
発行所　　河出書房新社　２０００年発行

内容

プロローグ	囲碁とは何と楽しく、悩ましきもの
第一章	老人性痴呆とは何か
第二章	囲碁の神経心理学（脳の働きからみた囲碁）
第三章	囲碁によって救われた人生
第四章	囲碁を知っていることは大きな財産
第五章	囲碁で遊ばせる術と将来の夢

以上、プロローグと五章で構成されています。

各章の見出しからも予想できますが、囲碁の医学的な効用が具体的な事例を挙げ説明されています。自ら楽しんでいる囲碁の意義を理解できることで、楽しさも倍加します。なお、本の中で「八王子の碁を楽しむ老人連合」（碁老連）（現在は碁楽連）のことも良い事例として紹介されています。

この本は八王子市立中央図書館に所蔵されています。

原稿募集　薄謝進呈

囲碁の事に限らず、日常の出来事、ハイキング、旅行、ドライブ、読書、音楽、短歌、俳句など・・・政治、宗教以外のことならなんでもＯＫです。また、同好会員の家族からでも結構ですのでお待ちしています。匿名での掲載希望は、その旨お書きください。掲載させていただいた原稿については，薄謝を進呈します。

原稿送付先　広報担当：磯部信広　住所　192-0014　みつい台２－１３－１２
TEL　６９１－３６７１　ｅ－メール　isobe@tbn.t-com.ne.jp

第１５回　タイトル囲碁大会の結果

平成 20 年 2 月 17 日開催

参加者　11 地区　62 名

浅川 6、恩方 6、元八王子６、中野 5、大和田５

石川 5、由井 6、台町 6、由木６、北野 6、長房５

この冬 1 番の寒い日でしたが、各地区のタイトル者が熱戦を繰り広げました。
結果は次の通りです。

八王子名人（参加者 20 名）

優勝　石神芳雄 6 段/北野→7 段に昇格　**準優勝**　安西　実 4 段/長房

八王子王座（参加者 21 名）

優勝　渕上和男 7 段/恩方　　**準優勝**　石塚義保 2 級/中野

八王子天狗（参加者 21 名）

優勝　磯部信広 5 段/中野→6 段に昇格　　**準優勝**　松見勝義 6 段/淺川

会場風景

第１０回碁楽連理事会報告

Ⅰ. 報告事項　　平成２０年1月２６日〈土〉実施

１．平成２０年度定例総会の開催日平成２０年４月６日（日）

２. 川中　章　様　南大沢研修部部長をご辞退、これまでの碁指導に感謝いたします。

３．南大沢研修部部長を塩路孝夫様に、新たにご指導を　林　則文様にお願いしてご了承をいただきました。

Ⅱ. 協議事項

１．タイトル争奪大会の担当

①、受付　　当日決定

②．競技委員　各理事同好会より１名の方にお願いする。

２．川口やまゆり寿囲碁同好会

会　長　三浦隆郎　　会　員　　２５名。碁楽連に入会希望。

３．碁楽連下記大会の期日の決定

①．碁楽連大会　　１１月３０日（日）

②．碁楽連棋聖大会　　２１年1月１８日（日）

③．タイトル争奪大会　　２１年2月１５日（日）

４．段級位規程の改正について

研修会の４・５段の昇格基準の緩和について検討をした。

５．総会の準備について

①．１９年度事業報告　②．決算報告・

③．次年度の計画（行事・予算）　④．その他

３月１０日までに資料を作成しその後発送する。

６．２０周年行事について

委員会を組織して、小史の作成・記念大会等を実施する。

編集後記

碁は楽しみながら打ちたいもの、そしてできるものなら勝ちたいものですね。皆がそう願っているものですが、なかなか思うようにならないのが常。暖かい縁側で詰め碁でゆったりした時をすごしたいものですね。タイトル画像は小宮公園の蝋梅。磯部